

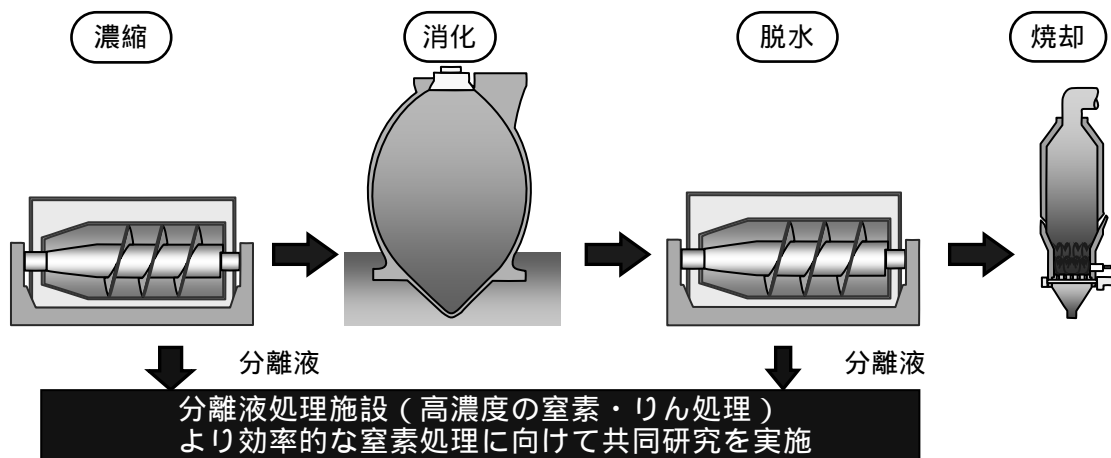
環境創造局における公民連携による技術開発の推進について

環境創造局では、下水処理や汚泥処理の効率化を目指し、調査研究や技術開発を進めています。このたび、シンガポール公益事業庁（以下、PUB という）と株明電舎と横浜市の3者で、下水や汚泥処理の過程で発生する分離液の窒素除去について、共同で調査研究を進める覚書を締結しました。

PUB : Public Utilities Board

1 経緯

平成23年3月 株明電舎の提案により、株明電舎と横浜市が「汚泥脱水分離液の嫌気性アンモニア酸化による高速窒素処理」の共同研究開始



平成24年3月 PUBが株明電舎に嫌気性アンモニア酸化による高速窒素処理研究の申し出

平成24年5月 3者による効率的・効果的な研究に向けて協議

平成24年7月 シンガポール国際水週間中のシンガポールで覚書の調印

2 覚書の内容

(1) 期間

平成24年7月2日～平成26年7月1日（2年間）

(2) 成果共有及び評価

3者で定期的実施

(3) その他

PUBと横浜市が有する下水道技術の知見などを広く情報交換

3 期待される研究の効果

(1) 2箇所の研究が同時に進み、結果の共有や技術の評価が積み重なることで、より早い実用化が期待されます。

(2) 横浜水ビジネス協議会の会員企業の海外展開支援となります。

4 今後の取組

共同研究に限らず、今後も技術開発に必要となる下水や汚泥などの試料や水再生センターなどの研究フィールドの企業等への提供を通じて、公民連携の取組を進め、下水道事業の発展や市内企業等の支援につなげていきます。